

日本ポリアミン学会第6回年会 プログラム (以下敬称略)

第1日目

開会・世話人挨拶

13:00~13:10

セッション I 微生物とポリアミン(1) 座長 鈴木秀之・草野友延

13:10 - 13:25

高度好熱菌 *Thermus thermophilus* の特異ポリアミンの生合成経路

○大島泰郎、森屋利幸

(共和化工・環境微生物研)

13:25 - 13:40

高度好熱菌 *Thermus thermophilus* の高温特異的に生産されるタンパク質の解析

○妻木慧悟¹、武山靖弘¹、井上 駿¹、浦野直人¹、石田真巳¹

森屋利幸²、大島泰郎²、

(¹東京海洋大院・海洋環境保全学専攻, ²共和化工・環境微生物学研究所)

13:40 - 13:55

高度好熱菌 *Thermus thermophilus* の遺伝子破壊株で見出される未知物質

○井上駿¹、森屋利幸²、妻木慧悟³、浦野直人³、石田真巳³、大島泰郎²

(¹東京海洋大学・海洋環境学科, ²共和化工・環境微生物学研究所, ³東京海洋大学・海洋環境保全学専攻)

13:55 - 14:10

大腸菌を用いたプロレッシンの生産

○入江加奈子¹、鈴木秀之¹

(¹京都工繊大・応用生物学専攻)

セッション II 植物とポリアミン 座長 大島泰郎

14:15 - 14:30

シロイヌナズナにおけるサーモスペルミンを介した道管分化の抑制制御

○吉本香織、高村浩由、門田功、本瀬宏康、高橋卓

(岡山大・院・自然科学)

14:30 - 14:45

イネのポリアミン酸化酵素の多様性

○草野友延¹, 金 東煜¹, 刘 太波¹, 井澤 翔¹, 新津 勝²,

Thomas Berberich³, 児島征司¹

(¹東北大・生命科学, ²城西大・薬学部, ³BiK-F)

休憩 14:45~15:05

セッション III ポリアミンと食・健康

座長 栗原 新・松本光晴

15:05 - 15:20

ヒト腸内細菌優占種の菌体内および培養上清におけるポリアミン解析

○奈良 未沙希¹, 片山 高嶺¹, 栗原 新¹

(¹石川県立大学・生物資源環境学部)

15:20 - 15:35

ポリアミンの経口摂取は膝軟骨再生を促進する

渡邊卓巳¹, 大浦布菜¹, ○伊地知哲生¹, 飯島裕生^{2,3}, 安食孝士³, 笠原尚哉^{2,4}, 寺谷工²

(¹コンビ株式会社, ²自治医科大学医学部動物資源開発部門, ³自治医科大学医学部形成外科, ⁴自治医科大学医学部消化器一般外科)

15:35 - 15:50

ラットにおける大腸管腔内プロレスシンの血中移行に関する研究

○中村篤央¹, 松本光晴¹

(¹協同乳業(株)研究所技術開発グループ)

15:50 - 16:05

腸内常在菌の異なる環境適応によるプロレスシン産生経路の解明

○北田雄祐¹, 村松幸治¹, 栗原新², 松本光晴¹

(¹協同乳業・技術開発, ²石川県大・生資環)

休憩 16:05~16:25

特別講演 (16:25~17:25)

座長 石田真巳

水産食品におけるヒスタミン研究の最前線

里見正隆

((独)水産総合研究センター 中央水産研究所)

懇親会

17:40 ~19:40

第2日目

セッションIV 微生物とポリアミン(2)

座長 松藤千弥

9:30-9:45

超好熱菌 *Thermococcus kodakarensis* におけるポリアミンの細胞内局在及び濃度効果

○井上貴央、中西千穂、岡田和真、藤原伸介
(関西学院大院・理工)

9:45-10:00

分岐型ポリアミン合成酵素の触媒機構の解明

○江淵優希¹、岡田和真¹、今中忠行²、大島泰郎³、藤原伸介¹

(¹ 関西学院大・理工学部,² 立命館大・生命科学,³ 共和化工・環境微生物研)

10:00-10:15

分岐型ポリアミン合成酵素の機能解析

○岡田和真¹、今中忠行²、大島泰郎³、藤原伸介¹

(¹ 関西学院大・理工学部,² 立命館大・生命科学,³ 共和化工・環境微生物研)

休憩 10:15~10:35

セッションV ポリアミンと核酸・細胞

座長 河合剛太・柏木敬子

10:35-10:50

単一分子観測法を活用したポリアミンのDNAへの作用に関する研究

○村松晃¹、吉川祐子²、福田青郎²、梅澤直樹³、藤原伸介⁴、今中忠行²、吉川研一¹

(¹ 同志社大院・生命医科,² 立命館大・生命科学部,³ 名古屋市立大・薬学部,
⁴ 関西学院大・理工学部)

10:50 – 11:05

スペルミンに結合する RNA アプタマーの結合様式の NMR 法による解析

○柳田明日美¹、藤枝裕大¹、小黒明広²、松藤千弥²、河合剛太¹

(¹千葉工大・工、²慈恵医大・分子生物)

11:05 – 11:20

等温滴定型カロリメーターを用いた RNA アプタマーとスペルミンの相互作用解析

小黒明広¹、柳田明日美²、天野亮²、坂本泰一²、河合剛太²、松藤千弥¹

(¹慈恵医大・分子生物、²千葉工大・工)

11:20 – 11:35

ポリアミンによる eEF1A 蛋白質合成促進機構

○坂本明彦¹、照井祐介¹、吉田健人¹、笠原拓馬¹、富取秀行¹、五十嵐一衛^{2,3}、柏木敬子¹

(¹千葉科学大・薬、²千葉大院・薬、³アミンファーマ研)

11:35 – 11:50

Organic cation transporter 2 によるポリアミン及びアグマチン輸送機構の解明

○今村 正隆¹、東 恭平¹、不動 聡志¹、植村 武史^{1,2}、齋木 遼太郎^{1,2}、星野 忠次¹、戸井田 敏彦¹、柏木 敬子³、五十嵐 一衛^{1,2}

(¹千葉大院・薬、²アミンファーマ研、³千葉科学大・薬)

昼食 11:50～13:00 (評議員会)

セッション VI ポリアミンと医療応用 座長 川喜田正夫・五十嵐一衛

13:00 – 13:15

B-リンパ芽球腫細胞の translome へ与えるクラリスロマイシンの影響

○懸川友人¹、大室弘美²

(¹城西国際大・薬学部 ²武蔵野大・薬学部)

13:15 – 13:30

大腸癌の手術前尿中ジアセチルスペルミン値と予後の関連

○平松恭子¹、高橋慶一²、斎藤文江¹、高浜恵美¹、森谷俊介¹、寺岡秀興¹、川喜田正夫¹

(¹東京都医学研・病院連携、²都立駒込病院・外科)

13:30 – 13:45

がん細胞増殖におけるアンチザイムと ATP クエン酸リアーゼの相互作用の意義

○田島彩沙¹, 村井法之¹, 村上安子¹, 松藤千弥¹
(¹慈恵医大・分子生物)

13:45 – 14:00

ポリアミンと発癌

○早田邦康
(自治医科大学さいたま医療センター)

14:00 – 14:15

高血糖カイクにおけるインスリン抵抗性とポリアミン合成の関係

○松本靖彦¹, 東恭平², 五十嵐一衛², 関水和久^{1,3}
(¹東京大学・薬学系研究科, ²千葉大学・薬学研究院)

14:15 – 14:30

新規アクロレイン毒性軽減細胞の単離と解析

○植村 武史¹, 中村 瑞穂¹, 坂本 明彦², 照井 祐介², 富取 秀行², 柏木 敬子², 五十嵐 一衛^{1,3}
(¹アミンファーマ研, ²千葉科学大薬, ³千葉大院薬)

総会

14:30~15:15

閉会・会長による総括

15:15~15:30